

お知らせ

令和2年1月22日

■同時発表先：島根県政記者会、出雲市政記者クラブ、米子市政記者クラブ、松江市政記者クラブ

水鳥が舞う斐伊川水系の自然環境をいつまでも！

= 第7回 斐伊川水系生態系ネットワーク協議会を開催します =

斐伊川水系は、ラムサール条約登録湿地に登録されている宍道湖・中海に代表される豊かな自然環境を有しており、国内に生息する貴重な大型水鳥類5種（ハクチョウ類・ガン類・ツル類・コウノトリ・トキ）の全てが生息可能な潜在性を持つ国内唯一の地域です。この豊かな自然環境を『守り』『育て』『未来へ繋ぐ』ことにより地域の隠れた魅力を再発見し地域振興が図られることを期待し『斐伊川水系生態系ネットワーク協議会※1』を平成27年度に設立しました。

この度、第7回の協議会を開催し、今年度の取組状況の報告と、今後の具体的な目標や活動方針について語り合います。

※1 正式名称：斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

【開催概要】

- ◆とき：令和2年1月24日（金）14：00～16：00
- ◆ところ：松江市 島根県立産業交流会館（くにびきメッセ） 小ホール
- ◆内容：別紙1「議事次第（案）」参照

<問い合わせ先>

斐伊川水系生態系ネットワーク協議会 事務局

■国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

技術副所長

むらまつ きよし
村松 清

（担当）計画課長

はせがわ ふみあき
長谷川 史明

0853-20-1761（直通）

第7回 斐伊川水系 生態系ネットワークによる
大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

議 事 次 第

日 時：令和2年1月24日（金）

14：00～16：00

場 所：島根県立産業交流会館（くにびきメッセ）

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 事

（1）協議会の規約の変更案等について

（2）斐伊川水系生態系ネットワーク全体構想（案）について

（3）令和元年度活動状況報告

① 専門ワーキング報告

② 出雲・雲南地域における活動報告

③ その他

（4）愛称・シンボルマークの選定について

4. その他

5. 閉 会